



# ぐんぐん広場

令和7年8月27日(水)  
北小学校 学力向上推進だより

長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。夏休み中の様々な体験や学びを経て、一回り大きく成長したように感じられます。

さて、夏休みは、子供たちが自分の興味や関心を探求したり、新しい体験をしたりする貴重な時間だったと思います。夏休み気分が抜けきらない子もいるかもしれませんが、この時期の過ごし方が、今後の学習意欲や学力の伸びに大きく影響します。

今回は、夏休み明けの子供たちの学習意欲を引き出し、充実した2学期を送るためのヒントをお伝えします。

## 1. 「できたこと」「頑張ったこと」を認め、自信につなげましょう

夏休み中の宿題や課題、自由研究など、子供たちが取り組んだ努力をぜひ具体的に褒めてあげてください。「丁寧に書いてあるね」「この問題、難しかったのに頑張ったね」といった言葉が、子供たちの自己肯定感を高め、「次も頑張ろう!」という意欲につながります。



## 2. 学習リズムを整え、家庭学習の習慣を確立しましょう

夏休み中は、どうしても生活リズムが不規則になりがちです。早寝早起きを心がけ、学校の授業時間に合わせて生活リズムを整えることが大切です。また、毎日決まった時間に机に向かう「家庭学習の時間」を設けることで、学習習慣が身につきます。はじめは短時間でも構いませんので、無理のない範囲で取り組んでみてください。



## 3. 授業の振り返りと予習を習慣づける

その日に習ったことをその日のうちに復習する習慣をつけましょう。教科書を読み直したり、ノートを見返したりするだけでも、理解度が深まります。また、余裕があれば、翌日の授業内容に軽く目を通すだけでも、授業への集中力が高まります。



## 4. 「わからない」をそのままにしない

夏休み明けは、1学期の学習内容が定着しているか確認する良い機会です。もしお子様が「わからない」と言っている単元があれば、ぜひ一緒に教科書や参考書を開いてみてください。また、担任の先生に相談するのも一つの方法です。

2学期は、学習内容がさらに発展し、運動会や陸上競技大会などといった行事も目白押しです。子供たちが充実した学校生活を送り、学力を着実に伸ばしていけるよう、学校と家庭が連携してサポートしていければ幸いです。何かご心配なことやご不明な点がございましたら、いつでも学校にご連絡ください。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。